

問い合わせ先

第四管区海上保安本部海洋情報部

監理課長 奥村 雅之

電話 052(661)1611 内線 2510

平成21年8月25日

「海図で見る伊勢湾台風前後の名古屋港と海上保安庁による緊急水路測量の記録」パネル展開催

～ 第138回水路記念日 ～

9月12日(土)は、我が国が海洋調査業務を開始して138年目となる水路記念日です。また、今年は、伊勢湾台風から50年の節目に当たります。

これに因んで、9月14日(月)～18日(金)の間、名古屋港湾合同庁舎1階ロビーにおいて、伊勢湾台風前後の名古屋港周辺の海図と当時行われた緊急の水路測量の記録についてのパネル等の展示を行います。

水路記念日は、今から138年前の明治4年(1871年)9月12日、当時の兵部省海軍部に海上保安庁海洋情報部の前身「水路局」を設置し、我が国の海洋調査が始められた日です。

また、今年は、伊勢湾台風から50年目の節目の年に当たります。

今回の水路記念日に当たり、伊勢湾台風による災害を受けた港湾機能の復旧のため、当時の水路部職員が行った名古屋港周辺の水深調査の記録を当時の海図、写真及び資料により一般の方々にもご紹介します。

なお、展示物の中には、災害発生直後に当庁航空機が撮影した航空写真をつなぎ合わせて作成された、「伊勢湾台風水害調査航空写真集成図」の一部を復元したものや、当時、四管本部により作成され、本庁海洋情報部に保存されていた「伊勢湾台風被害写真帖」など、当時の被害状況を物語る貴重な資料も含まれています。

1. 海洋調査機器等の展示

(1) 展示日時

9月14日(月)～9月18日(金) 午前9時30分～午後5時

(2) 展示場所

名古屋市港区入船2-3-12

名古屋港湾合同庁舎1階ロビー

(3) 展示内容

海図で見る伊勢湾台風前後の名古屋港

伊勢湾台風水害調査航空写真集成図(復元版)

伊勢湾台風被害写真帖（昭和34年10月）

緊急水路測量の記録

調査を行った測量船及び航空機

伊勢湾台風による災害状況及び警備救難実施対策

海洋調査機器の展示と説明

海洋調査業務の紹介

（4）その他

庁舎に入る際、身分を証明する物が必要となりますのでご持参ください。

アクセスマップ



所在地

〒455-8528 名古屋市港区入船 2-3-12

Tel:052-661-1611 Fax:052-661-1620

※水路記念日

1871年9月12日（旧暦の明治4年7月28日）、当時わが国の緊急課題であった日本沿岸の安全を図るため日本人による近代的な海図を作成する必要から水路業務が開始されたことに因んで、9月12日を水路記念日としました。現在、この水路業務は海上保安庁に引き継がれ、海洋情報業務として海図や水路通報など航海に必要な情報を提供するとともに、培われた海洋調査技術を基に防災や環境分野についても様々な情報を提供しています。